

2022年9月30日
南海電気鉄道株式会社
南海ビルサービス株式会社

～ ‘なんかいね’ があふれる活気に満ちた沿線を目指して～

大阪府立臨海スポーツセンター、南海浪切ホール、南海電鉄本社で 10月1日(土)から「生理用品無料提供サービス」の実証実験を開始

南海グループでは、沿線エリアを中心に、地域住民・自治体・企業等のさまざまなステークホルダーと共創・協働し、「暮らす・働く・訪れる」価値を高める取組みを推進しています。

このたび、南海電気鉄道株式会社（社長：遠北 光彦、以下「南海電鉄」）、南海ビルサービス株式会社（社長：西山 哲弘、以下「南海ビルサービス」）は、女性が‘なんかいね’と感じて活躍しやすい環境を沿線に提供していくことを目指して、2022年10月1日(土)から約3か月にわたって、「大阪府立臨海スポーツセンター」「南海浪切ホール（岸和田市立浪切ホール）」「南海電鉄本社」の3施設内の一部女性用トイレにて、ネクイノ（社長：石井 健一、以下「ネクイノ」）が取り組む、トイレ空間の再定義を行う「トレルナプロジェクト」（生理用品無料提供サービス）の実証実験に協力します。

「トレルナプロジェクト」の詳細はこちら：<https://nextinnovation-inc.co.jp/service/toreluna>

南海グループがネクイノと共に「トレルナプロジェクト」の実証実験を行うのは、2022年5月～8月に難波駅構内トイレ等で実施した実証実験以来、2回目です。

今後も南海グループでは、人、まち、暮らしに‘なんかいね’があふれる活気に満ちた沿線、明るい未来を実現するサステナブルな沿線づくりに努め、お客さまに愛され、選ばれる南海グループを目指します。



イメージ

【「toreluna」設置場所】



大阪府立臨海スポーツセンター



南海浪切ホール



南海電鉄本社

1. 本実証実験実施の背景

南海グループでは、2022年5月～8月、駅構内や商業施設等、不特定多数のお客さまがご利用になる女性用トイレにて、ネクイノが取り組む「トレルナプロジェクト」の実証実験(1回目)を実施しました。利用者のアンケートでは、「急な生理の時に活用できてありがたかった」「ストックがなかった時に助かった」「他人にも(生理であることが)わからないので、とても良いサービス」といったご意見をいただき、「なんかいいね」があふれる活気に満ちた沿線を目指す南海グループにとって、同プロジェクトの有用性を実感しました。

2回目となる本実証実験では、不特定多数のお客さまがご利用する施設を実施場所とするのではなく、利用対象者を特化・限定(「スポーツする人」「文化を楽しむ人」「働く人」等)することで、沿線に暮らす・訪れる様々な方々が、生き生きできる環境整備に取り組むうえの、一助にしたいと考えています。

2. 本実証実験の概要

(1)実施期間 2022年10月1日(土)～約3カ月(予定)

(2)実施場所 ①大阪府立臨海スポーツセンター(1階女性用トイレ)

【住所】大阪府高石市高師浜丁6-1

②南海浪切ホール(1階女性用トイレ<予定>)

【住所】大阪府岸和田市港緑町1-1

③南海電鉄本社 ※同施設利用者のみ

【住所】大阪市浪速区敷津東二丁目1番41号

(3)利用方法 ①toreluna が設置されているトイレに入室(個室扉外側に toreluna のステッカー貼付)

②toreluna のアプリをダウンロード

③アプリを起動し、デバイス横にある二次元コードをアプリ上で読み込みナプキンを受け取る
(1回1枚 | 無料)

※ナプキンを1枚受け取るとアプリ上で2時間ロックがかかります

※1カ月に受け取れるナプキンの枚数は7枚が上限です



(4)お問い合わせ先 ネクイノ PR 部 pr@nextinnovation-inc.co.jp

主催する2社は、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGsの目標アイコン」を明示しています。
今回ご案内の取組みは、3番・11番・17番に繋がるものです。



以上